

日本バプテスト連盟
憲法改悪を許さない
私たちの共同アクション

わたしたちのひとつこと ACTION
for
PEACE

2014年4月23日 No.3

さいたま市南区南浦和 1-2-4 日本バプテスト連盟



池田博子
南小倉バプテスト教会

平和憲法は世界に胸を張れる日本の誇りであり財産です。戦争への道につながる憲法改悪は何が何でも阻止しなければなりません。そして、それができるのは今です。戦争になったら人間が人間でなくなるのは過去の戦争が教えています。私は戦争によって人間としての尊厳を失いたくありません。



徳本道明
南小倉バプテスト教会

日本がおこした侵略戦争によりアジア太平洋地域の2千万人もの生命が奪われ、現憲法は戦争の反省に立ち、九条の戦争放棄が規定されています。現憲法の大切な条文は国民主権、平和主義、基本的人権の尊重等で、改憲により失われ戦前に戻る恐さを強く感じます。勇気をもって改憲阻止の為訴えていきましょう。



広兼富士子
日本バプテスト広島キリスト教会

日本を戦争のできる国にしてはならない。「武力による威嚇または武力の行使は永久にこれを放棄する。」この平和憲法を絶対に

変えてはならない。このことを過去の戦争のおろかさと共に子ども達、次世代の人達にしっかり伝えていかなければ。



朝原裕子
日本バプテスト広島キリスト教会

被爆地にたつ教会のキリスト者として平和を祈り続けたい。憲法前文と憲法九条を守り、すべての人と家族になることができますように。



笠井豊
花小金井キリスト教会

武力は麻薬と同じである。麻薬は一時、痛みを消す事が出来る。しかし、使用者の身体を確実に蝕み滅びに至らす。武力は問題を解決できるように見えるが真の解決は出来ない。武力は確実に国を蝕み国民を滅ぼす。武力による解決を図る憲法改悪は絶対反対である。



みゆう
藤沢バプテスト教会

集団的自衛権を掲げて国防軍をつくるために、憲法改正を強行しようとしている状況に危惧の念を抱いています。自由に反対することもできなくなる前に、反対表明を

やらなくてはなりません。秘密保護法案は、あつという間に成立しました。憲法九条は、日本国民が今まで守り続けたすぐれた条文です。



坂元幸子
藤沢バプテスト教会

平和とは、自分のいのちも他者のいのちも共に大切にすること。だから私たちは戦争放棄を宣言した日本国憲法（平和憲法）が改悪されることに、強く反対します。「平和を実現する人々は、幸いである」と言われた主の言葉に聴き従ってゆきたいと祈ります。



藤田志のぶ
長崎バプテスト教会

憲法九条は日本の誇りです。私の夢は、日本が経済力でも軍事力でもなく「平和憲法」を掲げて、世界で尊敬される国になること。それに逆行する昨今の政府の動きには不安と憤りを感じます。国際情勢の変化を理由に、その動きを容認させられていくその先に、再び戦争の影が…。もう黙認出来ません。



栢原康郎
大井バプテスト教会

戦争は最悪の外交手段です。だが国の交戦権を認めない憲法など余りにもナイーブです。軍備は抑止力です。軍備のないところに平和がないことは古今東西の常識です。空想的平和主義に立脚した憲法は改め、現実的な平和維持憲法に改めるべきです。



山口カズ子
長崎バプテスト教会

15歳の女学生だった私達はある有名歌手の集いで故なく他国を鬼畜と決めつけ憎むよう煽動されたことがある。それから日本

の国は戦争へと突入し、そして原爆が落とされた。あれから70年。非戦の誓いは守られてきた。

二度と再びあの過ちを繰り返さないために。平和を守り平和をつくり出すために。



安藤栄二
日本バプテスト浦和キリスト教会

今の憲法「改正？」の動きには賛成できません。

憲法は個々の人間の人権を保障するためのツールですから、その人権保障の目的に添わない条項、思想は排除すべきです。因みに憲法が保障している「三権分立」の「三権」をドイツ語では「三つの力」「暴力」ともおきかえることのできることでばです。



柴田良行
日本バプテスト浦和キリスト教会

ヨハネ黙示録は示す。「惑わし」は獣の姿でやって来ない。「小羊の角に似た」イエス様のようにして、私にとって心地良い有様でやって来る。民は当初、獣である事をはっきりと認識していたのだ！しかし、次第に「惑わし」の中で、獣を神として礼拝してしまう。「主よ、我らに見抜く力を与えたまえ！」



佐藤徹丞
大分キリスト教会

「血と権力は人を酔わす」とドストエーフスキイは言っているが、今の安倍は正に権力に酔い知れて血を流す事も求めている。既に自制力を失っているこの酔人は益々粗暴化して他国との衝突事故を繰り返している。だが、そのような者に一票を投じている国民の平和への意識が希薄になっている事が一層心配だ。



大塚九三子
大分キリスト教会

吉高國彦先生のお誘いで「ひとこと」書いています。平和を実現する人はさいわいと言われたイエス様にお応えしたいです。かつての無知な軍国少女が生まれかわったのです。イエス様ありがとうございます。



西山一夫・しまお
直方バプテストキリスト教会

中学校一年生の時（1944年）、「本土決戦少年隊志願書」を渡され、持ってくるように言われて出しました。級友達も出した様です。私は本能的な恐怖心を抱きました。当時は皇国少年と呼ばれて軍国思想にマインドコントロールされていました。

いつか知覧の特攻隊員の遺書を読んで可哀そうだと思います。ですから平和憲法は私たちの孫子の為には絶対護らねばと思います。



安福慎一・寿加子
多良見キリスト教会

今の日本は、大変危険な状況下にあると考えます。軍国主義で第二次世界大戦で、あれだけの辛酸をなめ、また、来た道へ戻りかけています。なぜ、日本人は、本当の歴史と歴史教育へ向き合わないのか、一人の人間として不思議に思います。軍国主義に結び付く、憲法改悪に、絶対、反対します。



松本素代美
多良見キリスト教会

沖縄ヤンバルの大自然の人目に触れない所で、オスプレイの演習が行われています。80歳の友人は現地の方々の支援に毎週出かけています。気づかない内に見えない所で、着々と再び戦う準備が進行しています。知

らなかった！ 気づかなかった！ 手遅れにならない為、目を覚ましていたいと決意しています。



K・K
今治バプテスト教会

憲法九条の改悪は絶対に許さない。戦後70年、早くも戦争が出来る道へと向かいつつある動きに恐れを感じるのです。安倍首相、国のリーダーとして、どこまでも国民一人一人の命の事を一番に心にとめ、そのための政策を考えて舵取りをお願いします。取り返せない大切な命の救いのために。



伊藤世里江
シンガポール国際日本語教会

アジア宣教と言うときに、過去の戦争の悔い改め、と主にある和解なしに、ゆるしを語ることはできません。アジアの国々が、日本がどう進もうとしているか、憲法改悪の動きも含めて注目しています。日本の軍事力の強大さをこちらのテレビで見ます。アジアの国々から尊敬される国であってほしいと願います。



上原興隆・麗子
市川八幡キリスト教会

戦後70年近く大切に育ててきた平和な社会が一人の狂信的なファシスト安倍首相の出現で危機にさらされています。なんとか阻止する為、キリスト教会のみならず、志を一にできる人達が大同団結して事に処するよう切に願うものです。今こそ良心ある人達が一つに集結すべき時なのではないでしょうか。



眞島 豊
市川八幡キリスト教会

平和憲法改悪の流れは、止めなアカン！現在の平和憲法の前文を読んでみよう。

過去の悔い改めと世界平和を希求する実に崇高な理想に向け歩みを願う国民の姿が良く表れている。個人を大切にする憲法。思想信教の自由を大切にする憲法。弱い者を守る憲法。憲法の主役は国民です。天皇・権力者が主役となる憲法改悪は断固拒否！



齊藤和子
市川八幡キリスト教会

自民党改憲草案第一章について

神ならぬものを、神格化することの弊害は、過去の歴史で充分学んだ筈なのに再び繰り返そうとしている。戦争の時代を経験したものの一人として、強い危惧を感じています。

次代のためにも、憲法改悪に反対し、平和を祈るものです。



匿名
市川八幡キリスト教会

法は最大（最強）の味方ということばがあります。どんな悪法でもひとたび法制化されてしまうと最大（最強）の味方となってしまいます。私たちは絶対に憲法の改悪を許してはいけません。平和憲法・主権在民・基本的人権はみんなで力を合わせて守りましょう。立憲主義をないがしろにする政権はさらばだ！



婆A
八王子めじろ台バプテスト教会

今の政治はほんとうに怖い。どんどん右傾化して、戦争に向かってつき進んでいるように思える。戦争を知らない世代がトップに立って危険な方向に引っ張って行っている。戦争絶対反対。改憲反対。岸信介の亡霊にとりつかれて国政をもてあそぶな!!と言いたい。弾丸の飛び交う場所には政治家が行けばいいのだと思う。国民を殺すな。



高屋和子
飯塚バプテスト教会

平和を脅かす、いつでも戦争ができる国へと着々と準備がなされ、国の最高の指針である憲法を改悪することに断固として反対致します。二度と戦争を起こしてはいけません。隣国、また世界の国々と対話を重ねつつ地道に和解のための努力がなされ、平和への祈りと業が推し進められますよう祈ります。



立田卓也（人形げきや おたこ組代表）
松山西キリスト教会

平和が、ここにはあって、あそこにはないとしたら、それは「平和」ではない。と日野原重明著『十歳のきみへ』

主の「平和」でない日々の報道に不感症な私。大人何やってんの!?!とまずはここの戦い

戦前のキリスト教会からの悔い改めを経、許されて生きる者として、もうイエスの踏絵は踏みたくない。



安里節子
山梨バプテスト教会

日本国憲法は我が国が世界にほこる素晴らしい国民主権の憲法です。我が国が70年近く戦争せず平和を守る事が出来たのは、不戦憲法九条がある為です。いかなる理由、解釈を持って説明しても改憲はノーと言いつけるのは私達国民の義務です。法の番人は私達国民です。平和を守る為の戦争はあり得ないのです。

◎あなたのひとことをお寄せください。教会に送付してありますはがきをご利用ください。ホームページからも用紙をダウンロードいただけます。

Eメール：hitokoto@bapren.jpでもお受けいたします。